



今年も大活躍!! 島の子ども達

大会史上初! 高校生スター!!

毎年様々なボランティア活動で大会を支えている宮古の子ども達。今大会では、33回という長い歴史を誇る宮古島トライアスロン史上初めて「高校生スター」が誕生しました。

スターを務めたのは第32回全国高校選抜大会の重量挙げ105kg超級で優勝した手登根 武魁君(宮古高校3年)と、WRO(ワールド・ロボット・オリンピック)ジャパン2015決勝大会パイロット競技準優勝の赤嶺 南緒さん(宮古工業高校3年)。過去には小泉純一郎元首相や五輪3連覇の吉田沙保里選手などの有名人が担った大役を立派にやり遂げました。また、公設市場前での演奏や競技を終えた選手へのマッサージ、ボランティアへの弁当配達などなど島中で子ども達が活躍の1日となりました!



STRONGMANへ送る、手作りプレゼント

"世界に一つだけ"の花冠づくり



本番を翌日に控えた22日、市総合体育館では市内保育所で働く保育士約30人が集まり、上位100人分の花冠づくりが行われました。花冠づくりは毎年恒例となっていて、シダに紫、ピンク、黄色のスターチスを編み込んで手作りして完成させていきました。慣れた手つきで完成させていくベテラン保育士、四苦八苦しながらも愛情を込めて編み込んでいく保育士の姿もあり、「選手に完走目指して頑張してほしい」と"世界に一つだけ"の花冠を作成していました。

選手からボランティアへ 感謝のメッセージ!

選手アンケートの中から宮古島トライアスロンへのメッセージを紹介します!

- ☆小さい子どもからお年寄りまで身内のように応援してくれて感動しました。まるで地元に戻って来たような錯覚を起こしました。(和歌山県・男性)
- ☆島全体での応援は本当に嬉しかったです。日本一の大会だと思います。本当にありがとうございました。(東京都・男性)
- ☆地域ごとの特徴ある応援がとても素晴らしく、力をいただきました。(広島県・男性)
- ☆宮古島の人々のやさしさを感じて涙が出ました。(長野県・男性)
- ☆バイクボトルを取りやすいように走りながら渡してくれた学生さんに感動しました!(広島県・女性)
- ☆宮古島の住民の方々の応援、気配りの行き届いたエイドステーション、整備清掃された道路、そして宮古島の自然。どれをとっても素晴らしい宮古島大会に参加でき、人生の大切な宝物となりました。(愛知県・男性)

などなど、他にもたくさんの感謝のメッセージをいただいております!

約5,000人の市民ボランティアの皆様、沿道からの声援で選手の背中を押してくれた皆様、長時間の交通規制にご協力くださいました市民の皆様、本当にありがとうございました!



4/23 第33回全日本トライアスロン宮古島大会 特集 宮古島が笑った! 叫んだ!! 踊った!!!

今年も大成功に終わった全日本トライアスロン宮古島大会。広報みやこじまでは、「日本一」の呼び声高い宮古島トライアスロンを支える約5,000人の市民ボランティア、沿道からとぎれることのない大声援を送っていただいた皆様を中心にお届けします!

<p>■午前5時: 選手受付スタート 庶務部ボランティアスタッフが腕にレースNo.を記入していきます。</p> 	<p>■午前6時: 安全祈願 スタート前、スイムゴール地点でツカサ達が大会の安全を祈願した。</p> 	<p>■午前7時: 競技開始 一斉にスタート。熱く長い一日が始まります。</p> 
<p>■感動のゴール 過酷なレースを乗り越え、家族、友人と共に感動のゴール!</p> 	<p>■~午後8時30分: ラン "ワイドー!"の声援で完走を目指す選手の背中を後押し!</p> 	<p>■~午後3時20分: バイク お揃いの衣装でクイチャーを踊り声援を送るクイチャー保存会。</p> 